

事務事業 No./名称	□サービス部門 総務-06 統計調査事務 ■支援部門						
主管課	総務課	関連課					
分野名	行財政運営						
目標 (目標値)	円滑な統計調査実施のため、登録統計調査員の確保と資質向上を図るとともに、市民のための基礎資料を提供する。						
人口等のデータ	データ区分	24年度	23年度	22年度	備考		
	人口	177,224人	177,204人	177,161人	・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	世帯数	79,669世帯	79,217世帯	78,812世帯			
運営資源状況	事業の対象者数						
	決算値(千円)	2,219	2,296	2,161			
	(国・県)						
	(負担金等)	9	10	33			
	(一般財源)	2,210	2,286	1,808			
	人員配置数	1.0	0.8	0.2			
	人件費(千円)	8,102	6,874	1,808			
事務事業運営経費	協働のパートナー						
	総事業費(千円)	10,321	9,170	5,954			
	市民1人当りの経費(円)	58	52	34			
	対象者1人当りの経費(円)						
ベンチマーク (県内外自治体や民間団体との比較値)	団体名⇒						
指標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(27年度)
		目標値					
		実績値					
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退							

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

小事業名	H24決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)	⇒ 方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止	
統計調査事務	2,219千円	①効率性 ○	②妥当性 ○	③有効性 ○	④公平性 ○	⇒ □A ■B □C □D □E
	事業の概要	統計調査を行うための管理事務				
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要					
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要					
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要					

事務事業の課題及び取組状況

H24年度の課題	登録統計調査員の高齢化により、年々辞退する調査員が増加し、各種統計調査員の配置に苦慮している。		
課題解決のための取組	各種統計調査経験者に統計調査員への登録を依頼し、20人の新規登録者を確保した。また、調査ごとの調査員説明会において調査の趣旨、調査員の心得等について説明を行い、調査員としての資質向上に努めた。	取組の結果	■解決 □未解決
未解決の課題			

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価	適切=○ 要改善=△ (評価の視点を参照)	①効率性 ○	今後の方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止	※□事業完了
		②妥当性 ○		引き続き統計調査員の確保と資質向上を図る。統計情報の積極的な提供を継続する。	課長等名
		③有効性 ○		↓	
		④公平性 ○		B	課長(代理) 内藤 昭二

(2面) 個別事業の評価

(単位:千円)

小事業名	ザイムスコード	個別事業名	24年度予算	24年度決算値	評価⇒適切=○、要改善=△(1面の評価の視点を参照)			
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
統計調査事務	主な個別事業	596 事務補助嘱託員報酬	2,057	2,057	○	○	○	○
		596 事務補助嘱託員費用弁償	288	95	○	○	○	○
		596 職員旅費	34	20	○	○	○	○
		596 統計調査用消耗品	70	44	○	○	○	○
		596 神奈川県市部統計事務研究会負担金	3	3	○	○	○	○
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							